

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

富士山五合目レストハウス再建について

問 レストハウス再建に向けた状況について。
部長 「富士山富士宮口五合目来訪者施設整備事業」として静岡県が主体となって進めている。県は令和3年8月から建設候補地の測量調査及び地質調査を実施、令和5年度に入り設計者が決定し建築工事実施設計技術協力業務委託について公募型プロポーザルへの参加を公募したが、これまで応募がなく6月から手続きが止まっている。既に整地された旧レストハウス跡地や駐車場への場所変更も含め、整備計画の見直しを検討している。改めて当市、山小屋組合等、地元関係者をはじめ、環境省や文化庁などの意見を聴きながら早急に今後の方針を検討するとしている。供用開始については、引き続き令和10年度の完成を目指すことを確認している。

万野風穴の有効利用について（その2）

問 万野風穴の調査が、UZUME計画のシミュレーションプログラムとして行われることとなった経緯と現在の状況について。
部長 令和5年1月に今回の洞窟計測探査シミュレーションプログラムの総括である長崎県佐世保工業高等専門学校准教授から、万野風穴において実験用小型無人探査ローバーなどを使用した洞窟内部の測量実験を行いたいとの依頼があった。3月に実験が行われ、JAXAのUZUME計画に関連した計画であると認識した。
問 当市としてどのように関与していくのか。
部長 UZUME計画という、月や火星探査の未来を見据えたプロジェクトが当市に関わっていることは市民の知的好奇心に大きな刺激となる。また、万野風穴の学術的な価値を見つめ直す機会でもある。調査により安全性が確認できれば、風穴内の公開も可能となり市民の富士山火山の理解に貢献できる。形態は限定されるが、できる限り協力する考えである。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

太陽光発電設備の適正管理について

問 発電設備施設で問題や事故が発生した場合は、責任の主体は明確にされているか。
部長 発電設備施設の設置者または所有者。
問 緊急時に連絡が取れない場合はどこに。
部長 環境エネルギー室で受ける。
問 パネル廃棄の積立金を義務化しているが、富士宮市は何か対策をしているか。
部長 所有者がすべき、市としてはしていない。
問 ガイドラインに最低限のことがわかるチェック項目を設けることができるか。
部長 今後ガイドラインの在り方を検討する。
問 西小の近所を抑制区域にできないか。
副市長 現段階では難しい。
富士山登山について
問 入山料の義務化や入山規制はできないか。

部長 知事は、(仮称)安全快適な富士登山推進会議を設立する考えを示している。その中で議論や検討が活発化すると想定される。
意見 霊峰富士を守ってほしいという国民の声が多い反面、規制もせずに登らせてしまう行政にも問題があるという厳しい声もある。事故が起こる前に一步を踏み出してほしい。
プレミアム付商品券事業について
問 3割の世帯が買っていない現実を市はどのように分析しているか。
部長 買い忘れ等様々な要因。7割の方が購入したことは、期待度が高く大きな成果である。
問 1万円の購入費用が負担となり、購入を控えている市民がいることを市は考えているか。また、5千円にすることでより多くの市民が利用しやすくなる。その選択肢はなかったのか。
部長 総額44億円の経済効果がある。経済界からも期待があり現制度が最良であると考えている。
市長 私の所に来る市民はうれしくてありがたいという話ばかり、買えないという人はいない。